

令和4年度 授業計画（シラバス）

| 科目名 | 母性看護学概論 | 科目区分 | 専門分野 | 授業の方法 | 講義 |
|---|---------|----------------------------|--------|-------|-------|
| 対象学年 | 2 学年 | 単位(時間) | 1 (30) | 開講時期 | 2 年前期 |
| 担当教員： 専任教員 実務経験のある教員による授業 <input checked="" type="checkbox"/> 産科病棟を有する病院で助産師として実務経験のある教員が、その経験を活かした講義を行っている。 | | | | | |
| 《科目目標》 学習目的：母性についてその特徴を捉え、セクシュアリティ、リプロダクティブヘルス／ライツの視点から、社会における母性看護の現状とその役割、今後の課題を理解する。 学習目標：1. 母性看護の基盤となる概念を理解する。 2. 女性のライフステージ各期の健康問題と看護について理解する。 3. 母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状について理解する。 4. 母性看護の役割、法的責任と倫理について理解する。 | | | | | |
| 《成績評価の方法》 筆記試験、レポート | | | | | |
| 《使用教材（教科書）及び参考図書》 ナーシング・グラフィカ母性看護学① 概論・リプロダクティブヘルスと看護 メディカ出版 | | | | | |
| 《授業外における学習方法》 課題学習を行う | | | | | |
| 《履修に当たっての留意点》 | | | | | |
| 回数 | 時間数 | 内 容 | | | 教授方法 |
| 1 | 2 | 母性看護の中心概念 | | | 講義 |
| 2 | 2 | セクシュアリティ | | | 講義 |
| 3 | 2 | リプロダクティブヘルス／ライツ | | | 講義 |
| 4 | 2 | 母性看護とは | | | 講義 |
| 5 | 2 | 母性看護実践を支える概念 | | | 講義 |
| 6 | 2 | 母性看護に関する法律と制度 | | | 講義 |
| 7 | 2 | 母子保健統計 | | | 講義 |
| 8 | 2 | 女性のライフステージ各期の健康問題と看護（思春期）① | | | 講義 |
| 9 | 2 | 女性のライフステージ各期の健康問題と看護（思春期）② | | | 講義 |
| 10 | 2 | 女性のライフステージ各期の健康問題と看護（成熟期）① | | | 講義 |
| 11 | 2 | 女性のライフステージ各期の健康問題と看護（成熟期）② | | | 講義 |
| 12 | 2 | 女性のライフステージ各期の健康問題と看護（更年期） | | | 講義 |
| 13 | 2 | 女性のライフステージ各期の健康問題と看護（老年期） | | | 講義 |
| 14 | 2 | リプロダクティブヘルスに関する倫理① | | | 講義 |
| 15 | 2 | リプロダクティブヘルスに関する倫理② | | | 講義 |

令和4年度 授業計画（シラバス）

| 科目名 | 母性看護の方法 I | 科目区分 | 専門分野 | 授業の方法 | 講義・演習 |
|--|-----------|------------------------------|-------|-------|-------|
| 対象学年 | 2 学年 | 単位（時間） | 1（30） | 開講時期 | 2 年前期 |
| 担当教員： 専任教員 実務経験のある教員による授業 <input checked="" type="checkbox"/> | | | | | |
| 産科病棟を有する病院で助産師として実務経験のある教員が、その経験を活かし実践的な事例を含めた講義を行っている。 | | | | | |
| 《科目目標》 学習目的：妊娠の正常な経過ならびに正常を逸脱した妊娠の経過とその援助方法を学ぶ 分娩の正常な経過ならびに正常を逸脱した分娩の経過とその援助方法を学ぶ 学習目標：1. 正常な妊娠経過とその援助方法を理解する 2. 正常を逸脱した妊娠とその援助方法を理解する 3. 正常な分娩経過とその援助方法を理解する 4. 正常を逸脱した分娩とその援助方法を理解する 5. ウェルネス志向での看護過程を理解する | | | | | |
| 《成績評価の方法》 筆記試験、レポート | | | | | |
| 《使用教材（教科書）及び参考図書》 ①ナーシング・グラフィカ 母性看護学② 母性看護の実践 メディカ出版 ②ナーシング・グラフィカ 母性看護学③ 母性看護技術 メディカ出版 ③ナーシング・グラフィカ 母性看護学① 概論・リプロダクティブヘルスと看護 メディカ出版 | | | | | |
| 《授業外における学習方法》 事前学習・妊娠期の事例のアセスメントを実施する | | | | | |
| 《履修に当たっての留意点》 | | | | | |
| 回数 | 時間数 | 内 容 | | | 教授方法 |
| 1 | 2 | 妊娠・出産の現状とサポート、妊娠の定義・成立 | | | 講義 |
| 2 | 2 | 妊娠による妊婦・家族への影響、妊婦健診 | | | 講義 |
| 3 | 2 | 妊娠期の身体的・心理的・社会的変化とその援助① | | | 講義 |
| 4 | 2 | 妊娠期の身体的・心理的・社会的変化とその援助② | | | 講義 |
| 5 | 2 | 妊婦体験、妊娠期の身体的・心理的・社会的変化とその援助③ | | | 演習 |
| 6 | 2 | 正常を逸脱した妊娠とその援助方法① | | | 講義 |
| 7 | 2 | 正常を逸脱した妊娠とその援助方法② | | | 講義 |
| 8 | 2 | 妊娠期の看護過程①（事例のアセスメント） | | | 講義 |
| 9 | 2 | 妊娠期の看護過程②（看護を考える） | | | 演習 |
| 10 | 2 | 正常な分娩①（分娩の定義、分娩の3要素、分娩経過） | | | 講義 |
| 11 | 2 | 正常な分娩②（分娩による母体・胎児への影響、心理的变化） | | | 講義 |
| 12 | 2 | 正常な分娩③（家族の心理的变化）、分娩期の援助① | | | 講義 |
| 13 | 2 | 分娩期の援助② | | | 講義 |
| 14 | 2 | 正常を逸脱した分娩とその援助方法① | | | 講義 |
| 15 | 2 | 正常を逸脱した分娩とその援助方法② | | | 講義 |

令和4年度 授業計画（シラバス）

| 科目名 | 母性看護の方法Ⅱ | 科目区分 | 専門分野 | 授業の方法 | 講義・演習 |
|---|----------|--------------------------------|--------|-------|-------|
| 対象学年 | 2 学年 | 単位(時間) | 1 (30) | 開講時期 | 2 年後期 |
| <p>担当教員： 専任教員 実務経験のある教員による授業 <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>産科病棟を有する病院で助産師として実務経験のある教員が、その経験を活かし実践的な事例を含めた講義を行っている。</p> | | | | | |
| <p>《科目目標》</p> <p>学習目的：正常な産褥および正常を逸脱した産褥への援助方法を理解する。 正常な新生児および正常を逸脱した新生児への援助方法を理解する。</p> <p>学習目標：1. 正常な産褥経過とその援助方法を理解する。 2. 正常を逸脱した産褥とその援助方法を理解する。 3. 新生児の特徴と生理的変化およびその援助方法を理解する。 4. 正常を逸脱した新生児とその援助方法を理解する。 5. ウェルネス志向での母性看護過程について理解する。</p> | | | | | |
| <p>《成績評価の方法》</p> <p>筆記試験</p> | | | | | |
| <p>《使用教材（教科書）及び参考図書》</p> <p>① ナーシング・グラフィカ 母性看護学② 母性看護の実際 メディカ出版 ② ナーシング・グラフィカ 母性看護学③ 母性看護技術 メディカ出版</p> | | | | | |
| <p>《授業外における学習方法》</p> <p>事前学習、課題学習を行う</p> | | | | | |
| <p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>事例のアセスメントについては、必ず事前課題に取り組んで講義に臨むこと。</p> | | | | | |
| 回数 | 時間数 | 内 容 | | | 教授方法 |
| 1 | 2 | 全身の回復過程とその援助方法 | | | 講義 |
| 2 | 2 | 生殖器の復古とその援助方法 | | | 講義 |
| 3 | 2 | 産褥期に影響を及ぼす妊娠・分娩経過のアセスメント① | | | 講義 |
| 4 | 2 | 産褥期に影響を及ぼす妊娠・分娩経過のアセスメント② | | | 講義 |
| 5 | 2 | 全身の回復と生殖器の復古のアセスメント | | | 講義 |
| 6 | 2 | 母乳分泌のメカニズムと母乳育児支援 | | | 講義 |
| 7 | 2 | 母乳育児のアセスメント① | | | 講義 |
| 8 | 2 | 母乳育児のアセスメント② | | | 講義 |
| 9 | 2 | 親役割獲得過程とその援助方法 親役割獲得のアセスメント | | | 講義 |
| 10 | 2 | 正常を逸脱した褥婦への看護 | | | 講義 |
| 11 | 2 | 出生直後の胎外生活適応過程と看護 | | | 講義 |
| 12 | 2 | 出生直後の新生児のアセスメント | | | 講義 |
| 13 | 2 | 胎外生活適応過程を促進するための看護① | | | 講義 |

| | | | |
|----|---|---------------------|----|
| 14 | 2 | 胎外生活適応過程を促進するための看護② | 講義 |
| 15 | 2 | 正常な新生児のアセスメント | 講義 |

令和4年度 授業計画（シラバス）

| 科目名 | 母性看護の方法Ⅲ | 科目区分 | 専門分野 | 授業の方法 | 講義・演習 |
|---|----------|--|--------|-------|-------|
| 対象学年 | 2 学年 | 単位(時間) | 1 (15) | 開講時期 | 2 年後期 |
| 担当教員： 専任教員 実務経験のある教員による授業 <input checked="" type="checkbox"/> <p>産科病棟を有する病院で助産師として実務経験のある教員が、その経験を活かし実践的な事例を含めた講義を行っている。</p> | | | | | |
| 《科目目標》 学習目的：1. 産褥・新生児期にある母子とその家族への看護を理解する。 2. 母性看護で必要な看護技術を修得する。 学習目標：1. 母子相互作用に着目し、ウェルネス志向での母子に対する看護を理解する。 2. 妊婦、褥婦に必要な看護技術を理解する。 3. 新生児への援助に必要な看護技術を修得する。 | | | | | |
| 《成績評価の方法》 筆記試験、レポート、実技試験 | | | | | |
| 《使用教材（教科書）及び参考図書》 ① ナーシング・グラフィカ 母性看護学② 母性看護の実際 メディカ出版 ② ナーシング・グラフィカ 母性看護学③ 母性看護技術 メディカ出版 | | | | | |
| 《授業外における学習方法》 事前学習、課題学習を行う | | | | | |
| 《履修に当たっての留意点》 事例を用いた看護過程は母性看護の方法Ⅱで用いた事例を使用するため、復習を行って講義に臨むこと。 看護技術は母性看護の方法Ⅰ・Ⅱで学習しているため、復習を行って演習に臨むこと。 | | | | | |
| 回数 | 時間数 | 内 容 | | | 教授方法 |
| 1 | 2 | 産褥・新生児期にある母子とその家族の看護の特徴 (母子を一組の対象者として捉える、母子相互作用) 正常な褥婦・新生児の必要な看護の抽出① | | | 講義 |
| 2 | 2 | 正常な褥婦・新生児の必要な看護の抽出② | | | 講義・演習 |
| 3 | 2 | 沐浴・寝衣交換・オムツ交換 | | | |
| 4 | 2 | 妊婦への援助技術 (腹囲・子宮底測定、浮腫の観察、レオポルド触診法) | | | 演習 |
| 5 | 2 | 褥婦への援助技術 (子宮復古の観察、産褥体操、授乳、乳房マッサージ) | | | |
| 6 | 2 | 沐浴 | | | 技術試験 |
| 7 | 2 | 正常な褥婦・新生児の必要な看護の抽出③ | | | 講義 |
| 8 | 1 | | | | |